

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立南山城支援学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 Ⅲ、Ⅴ 】
2実施対象者	A：小学部3組 4名 B：小学部20・21組 12名、講師1名(京都ゴールボール協会) C：中学部1組 2名 D：中学部2～4組 12名、講師2名(トヨタカローラ京都)
3展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (A：遊びの指導 B：体育 C：生活単元学習 D：保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4目 標 (ねらい)	A：好きな色を選んで応援旗にステンシルすることができる。 B：オリンピック、パラリンピックの種目を知る。 目隠しをして、聴覚や触覚を頼りに情報を掴むことができる。 C：手指を動かして絵の具で応援旗に色をつけることができる。 D：ボッチャのルールを知り、ジャックボールに向かって投げる ことができる。
5取組内容	A：「応援旗をつくろう～We Can Do It～」 (1) 実施日 9月4、11日 (2) 内容 ①9月4日 ア オリンピックの動画視聴 イ 応援旗作成（手足やステンシルを使って作成） ②9月11日 ア 応援旗作成（手足やステンシルを使って作成） イ 完成した応援旗を披露



B：「えがおきらきらオリンピック～音で遊ぼうゴールボール～」

(1) 実施日 11月30日、12月7日（講師）、21日

(2) 内容

①11月30日

ア ゴールボールの動画視聴、ポイント確認

イ 目隠し遊び（目隠し綱渡り、目隠し鬼ごっこ、
ブラインドペットボトルボーリング）

②12月7日（講師来校）、12月21日

ア キャッチボール

イ ゲーム



C：「MINAMI 応援団2020」

(1) 実施日 7月10、13、14、17、20、21、27、28日

(2) 内容

①7月10、13、14、17日

ア 応援練習（手指や肩、腕の運動）

イ ゴールボール体験（音を聞いてボールに手を伸ばす）

②7月20、21、27、28日

ア ふれあい体操（手指の運動）

イ 応援旗作り（手指や腕を動かして作成）



D：ボッチャ

(1) 実施日 10月2、9、16、23、30日、11月6日

(2) 内容

①10月2、9日「ボッチャを知ろう」

ア オリエンテーション

イ ボッチャ練習（ボールを投げる、転がす練習）

②10月16日「ボッチャ体験」（講師来校）

ア 的に向かってボールを投げる練習

イ ジャックボールに向かってボールを投げる練習

ウ ルール説明、ゲーム

③10月23、30日、11月6日

ア ボッチャ練習（ジャックボールに近づける練習）

イ ボッチャ試合



6主な成果	<p>A：ゆび絵の具や大きな旗を使うことでダイナミックに活動することができた。</p> <p>B：普段は賑やかな児童達がゴールボールの特性を理解して、静かに音を聞いて取り組むことができた。 視覚障害者のスポーツと言うイメージだったが、実際にやることで目隠しをすれば誰でもできるスポーツだと認識が変わった。</p> <p>C：大きな旗を使用することで肩回りを大きく動かしてダイナミックに作成することができた。 ボールの鈴の音に気づいて、音が近づいてきたら目を大きく開く様子が見られた。</p> <p>D：ボッチャというスポーツを知ることができた。 練習をすることでジャックボールに近づけることがわかり、最後は試合を楽しむことができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>A：オリンピックのイメージができるように動画を見せた。</p> <p>B：始めの授業でゴールボールの試合の動画を見せてイメージを持たせた。 目隠しに慣れるために、目隠しをした遊びを取り入れた。</p> <p>C：肩回りを大きく動かせるように旗の位置を調整した。</p> <p>D：狙う的の大きさを徐々に小さくしていき、最終をジャックボールにした。</p>
8主な課題等	<p>A：ゆび絵の具は値段が高い。また、ゆび絵の具には黒色がないので、五輪のマークは書けなかった。</p> <p>B：少人数から始めないと静かに活動させるのが難しい。また、講師を依頼する場合は早めに計画する必要がある。</p> <p>C：作成した応援旗を聖火リレーのコースに持って行きたかったが延期になりできなかった。ただ作成するだけでなく、作成した応援旗をどのように活用するのもかも計画しておくといい。</p> <p>D：ボッチャの試合ができるようになったので、たくさんの人と試合をしたかったが、新型コロナウイルス感染症の流行でできなかった。1回の取組で終わるのではなく、継続して取り組めるよう計画しておくといい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>(1) ボッチャ 毎年本校ではボッチャの大会を行っていたが、今年は新型コロナウイルス感染症のため、実施できなかった。来年度は実施方法や対策等検討し、行っていきたい。また、地域の学校との交流は引き続き行っていく。</p> <p>(2) オリンピック・パラリンピック種目をやってみよう 本校では今年度初めてゴールボールに取り組んだ。実際に体験することでスポーツのことを知る機会になるので、来年度以降も様々なスポーツを授業の中で行っていく。</p> <p>(3) オリンピック・パラリンピックを応援しよう 来年度はオリンピック・パラリンピックが実施されるので、映像を流したり、結果を掲示したりして、スポーツに関心がもてる取組をしていく。</p>